



Jewellery 貴金属装身具

宝石の美しさを精緻な技巧が彩る

貴金属装身具は、一般的にジュエリーと称され、デザインを基に金、プラチナ、銀などの貴金属材料を加工し、貴石・真珠等を用いてブローチ、ペンダント、イヤリング、ピアス、指輪等の装身具を製作したものをいいます。経験により培われた技能と、製作者各々の感性により表現されたジュエリーは、長い歴史の中で時代と民族を問わず、多くの人々が創意工夫を凝らして受け継がれています。

競技概要

前回大会金メダリストからメッセージ!

18金、プラチナを使用してペンダントを作成します。

支給された材料を使用し、課題図を正確かつ慎重に読み取り、左右バランスの取れた美しいペンダントを製作します。製作工程は選手各々違いますが、課題図に沿ったパーツを材料から切り出し、曲げ、成形及びろう付等の作業を行い組み立てていきます。今回の課題は金(AU750)とプラチナ(Pt900)のコンビのため、完成イメージを基に素材の指定位置を注意する必要があります。



第32回競技課題



第33回競技課題

福山 優香さん

辛いこともたくさんあると思いますが、お客様の笑顔や出来上がったものに対する気持ちが大事だと思うので、それを忘れないで頑張ってください!



Point

- ① 装身具として美しく、バランス良く組み立てる
- ② 限られた支給材から、正確に材料取りをして
課題図に示されたように立体的に表現し具現化する
- ③ 課題図の指定寸法は全て許容差内で仕上げる
- ④ 競技時間以内で全ての工程を終える

